彼がその事を知ったのは就職の時だった

受ける会社からことごとく不採用の通知が送られて来る仲間は次々と会社が決まって行くのに自分だけどうして……

思い悩んだ彼はある会社に勤めていた先輩に自分の不採用の理由を聞いてもらったそうだ

おまえには悪いけど……部落の出身だとウチの会社ダメなんだよおかしな事なんだがな…

もちろん彼はショックを受けただろうがあまり表には出さなかった

ある日彼がこう言ったのを良く憶えているよ

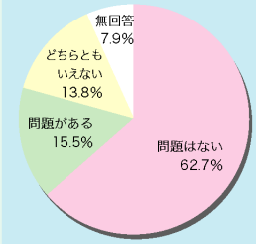
ふざけるなそんなもんに負けてたまるかオレはオレだ、オレの事はオレが決めるんだ

どこで生まれたかなどと言う事は仕事の能力や適性とは何の関係も無い事だにも関わらず現実はこうなんだ

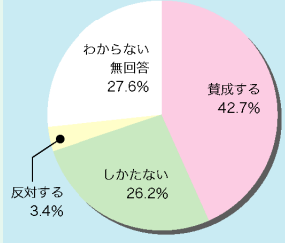
結婚でも同じようなことが起こる。身元調査が行われ結婚に反対されたり結婚しても相手の両親や親戚との交際を拒絶されたりすることが起こっている実際、彼もそうなんだそうだ

区役所が行った調査でも、本籍を聞かれて問題ないと思っている人が半分以上いたり、結婚に賛成すると答えた人が半数に届かなかったりと、残念な結果が出ている。

採用試験において本籍地を聞かれても問題ないと思いますか？



自分の子供の結婚相手が同和地区出身者とわかった時結婚に賛成しますか？



「大田区2002年区民意識調査」の結果による

先生は、彼と今でも付き合っているし、尊敬もしているもし、自分がその立場だったらどうなっていたんだろうかと時々考えるんだ

日常でもいろいろなことが起こっているんだ差別的な内容の貼り紙や落書き、脅迫文まがいのハガキや手紙が会社にまで送られてきたり

インターネットにとても言葉にできないようなひどい内容の書き込みをされたり…